

第4回NARO-WURカンファレンス

強靱な農業とフードシステム

— 畜産分野における生産性の向上と環境保全の 両立を目指して —

2024年10月24日（木） 10：00～16：15

ワーヘニンゲン・キャンパス・オムニア（105号館）

<https://maps.app.goo.gl/ganuo5kjNXtajpfB8>

日英同時通訳あり

参加無料

プログラム

09:30-09:55 受付

10:00-10:05 開会挨拶 農研機構理事長 久間和生

10:05-10:10 開会挨拶 ワーゲニンゲン大学副学長 Prof. dr. ir. Arnold Bregt

10:10-10:15 日本政府代表より挨拶

在オランダ日本国大使館 駐オランダ特命全権大使 南 博

10:15-10:20 オランダ政府代表より挨拶

農林水産・食料安全保障・自然環境省 国際アグリビジネス・食料安全保障担当ディレクター **Mr. Ralf van de Beek**

10:30-11:00 基調講演 "畜産産業における生産性の向上と環境保全の両立を目指した研究開発戦略"

農研機構理事 生駒吉識

11:00-11:30 基調講演 "家畜における新興人獣共通感染症へのワンヘルスアプローチ"

ワーゲニンゲン大学・人獣共通感染症ウイルス 教授 **Wim van der Poel**

11:30-13:00 昼食・情報マーケット（JETROアムステルダム協力）

13:00-14:15 セッション1 生産性と持続可能性

1. "和牛の輸出拡大目標達成に向けた増頭技術の開発"
農研機構畜産研・食肉用家畜研究領域 研究領域長 石井和雄
2. "持続可能な食糧生産における動物栄養の役割"
ワーゲニンゲン大学・動物栄養 部長 Roselinde Goselink
3. “反芻動物の環境負荷低減：グローバル・メタン遺伝学イニシアチブ”
ワーゲニンゲン大学・動物育種・ゲノム 教授 Roel Veerkamp
4. "ルーメン微生物制御による牛メタン排出削減と牛メタン測定技術の開発・標準化"
農研機構畜産研・乳牛精密管理研究領域 グループ長補佐 真貝拓三
5. “牛ルーメンメタン低減のためのプロバイオティクス剤と測定システムの開発”
DSM社コマーシャル・ディレクター Dennis Rijnders

14:15-15:00 セッション2 動物の健康

1. “高病原性鳥インフルエンザウイルスの性状解析と緊急対策用ワクチン開発”
農研機構動衛研・人獣共通感染症研究領域 グループ長補佐 宮澤光太郎
2. “持続可能な動物生産の不可欠な側面としての動物福祉”
ワーゲニンゲン大学・畜産研究所 動物福祉・健康 上級研究員 Ingrid de Jong
3. “VET-SAA、幅広い種類の炎症の診断をサポート”
栄研化学株式会社・マーケティングマネージャー 有田潤史

15:00-15:10 休憩

15:10-16:00 パネルディスカッション

“畜産部門において、生産性の向上と環境保護のバランスをどうとるか？”

モデレーター ワーゲニンゲン大学・国際広報・プロトコール担当マネージャー Ben Geerlings

パネラー

Professor, Dr. Wim van der Poel

Mr. Dennis Rijnders

NARO から 2 名

16:00-16:15 閉会挨拶

ワーゲニンゲン大学アジア担当 **Mr. Kalyan Guntuboyina**

ワーゲニンゲン大学理事長 **Prof. dr. Sjoukje Heimovaara**